

技術の日立



「何かと何かが出会う所」「接触面」という意味の言葉、Interface。「マン・マシン・インターフェイス」というように使われます。人と機械が変わる所、つまり入出力装置や端末装置のことです。しかし、日立はInterfaceをもっと大きな意味でとらえたいと考えています。近年、高度に進歩した機械の多くは専門家のものでした。操作に知識や熟練を要するからです。人間が機械に合わせていたといってもいいでしょう。でも、これからは機械の方が人間の側に歩み寄る番です。実現には、きわめて高度な技術の数がすが必要。しかし、そんな技術こそが人間と機械の新しい関係をつくり上げるカギ、すなわちInterfaceであると考えてる日立は、あえてこの課題に挑戦していきます。

技術と人の自由な往来
Interface

第8回日本リーグ戦績

湧永(男子)
立石、大崎、ジャスコ(女子)
全勝で折り返す

初日決戦、湧永が制す！



湧永製薬対大同特殊鋼の熱戦

男子

△第1週第1日(6月10日)▽

○東京体育館

湧永製薬 15 (8 | 7) 14 大特殊鋼同

得00440000331
【湧永】城藤上駒積本賀川田本木田
【大同】大井池生穂藤志中内松山原

GK (審・千野) FP (審・千野)
同村清中口野実原本井生川村
得000210130502
【大同】大上柳田小柳大中河蒲市高

14 (3) PT (2) 15

開幕第1戦にいきなり「二強」の対決とあって両チーム共堅さが目立った一戦であった。前半は湧

第8回を迎えた日本リーグは、6月10日に前期の幕を明けた。今リーグは、何といっても6月10日の初日・第1戦で、男子の湧永製薬、大同特殊鋼の二強が激突するという点に話題が集まった。とにかく日本リーグが始まって以来過去7回のリーグは、いずれもこの両チームで優勝を争ってきているだけに、この「初日決戦」には両チームともかなりの意気込みで乗り込んで来た。

結局、この決戦は、ここ3年間日本リーグでどうしても大同に勝てなかった湧永が、ようやく大同を破り、その余勢をかって前期を全勝で折り返した。

一方女子の方は、やはり立石、大崎、ジャスコの3チームが安定した試合ぶりを見せ、星を落とすことなく前期を終え、一線となつて後期の決戦へと持ち込んだ。

永の1点リードで終了したが、湧永は14分から24分までの10分間無得点。大同は後半の立ち上がりには逆転、終始リードしたが16分過ぎからやはり11分間無得点の間に湧永の再逆転を許し、終了間際に追いつけたが及ばなかった。

△第1週第2日(6月11日)▽

○岩井市民体育館(茨城)

大同特殊鋼 31 (17 | 14) 16 三陽商会

得001325219116
【大同】村清中口野実原本井生川村
【大】上柳田小柳大中清海市高

16 (3) PT (8) 31

GK (審・清水) FP (審・清水)
陽山村子口子川口原月沢井
得00410006310001
【三】大田関金田坪砂山石望鶴亀

16 (3) PT (8) 31

○：前半は三陽が2点差で下がり、動きの良さを感じた。後半に入り、一転して大同のペースとなり、大同が優勝した。この試合では、蒲生のペナルティ得点5を含む9得点と新人・高村の打点の高さが目立った。

○浦和市民体育館(埼玉)

本田技研 21 (10 | 11) 19 大崎電気

得002203030603
【大崎】部内藤江田野田岡迫本野沢
【岡】矢齊東武長橋松越山星大

21 (0) PT (2) 19

GK (審・大塚) FP (審・大塚)
本大中佐三喜豊長玉栗坂尾田
得001211030427
【本】畑尾木松井岡野井屋本上野

○：開始早々、大崎は大沢がシ

ユートを決め幸先良い1点を先取したが、その後はしばらく双方もみ合い。

4分経過で本田・田野が1点あげたのを皮切りに、佐々木、玉井、田野、三本松と本田は着々と点を重ね、14分経過で田野が3本目のシュートを決めた時本田は6点となり充実した試合展開。

大崎もがんばるがシュートが決まらない、24分あたりから本田はたちまちのうちに田野、玉井、坂本と3点を加えて11点としたのに対し、大崎は長野、松岡、山本と懸命に追い上げたが及ばず、11対7で前半を終了。

後半開始2分、3分と本田・田野がたて続けにシュートを決め絶対優勢かと思わせたが、大崎の追い上げもものすごく、負けじと山本がシュートを2本決める。その後しばらくはカットのやりあいで双方コート一杯に力のぶつけ合いの熱戦。

7分、大崎・山本がPTを決め、9分長野が素晴らしいシュートを決めた頃は場内騒然。

10分、12分の東江のシュートで遂にタイとなり、その後双方一進一退の攻防。
残り1分になって本田は尾上のシュートで1点リード、さらに豊岡のシュートでとどめを刺し、21対19で粘る大崎をようやくふり切った。

○富岡高校体育館

湧永製薬 24 (1311) 18 日新製鋼

得	0	0	1	1	2	2	0	0	1	5	4	2
新	川	谷	泉	田	見	瀬	若	野	木	山	井	
日	西	谷	泉	德	吉	洞	脇	日	高	西	藤	
GK												
FP												
審												
北												
井												

○：日新はスタートよく10分まで4対2とリードしてゲームを進めたが、湧永も次第に調子を取り戻し、20分を過ぎて8対8の同点とし、更に3点を加えて11対8として前半を終えた。

後半に入って立ち上がり日新は得点を重ね、10分には12対13と1点差まで追い上げたがここまで以後は湧永の速攻を混えての攻撃に屈して大きく水をあけられた。

△第1週第3日(6月12日)▽
○栃木市総合体育館(栃木)
本田技研 20 (1011) 14 三陽商会
鈴鹿 1011 7 14

○：本田は常にゲームの主導権を握り、三陽も関、金子などの得点によってよく食い下がったが、前半の3点差を詰めることが出来なかった。
本田の攻撃力が三陽を上回り、本田の勝利となった。

○市川市民体育館(千葉)

日新製鋼 24 (1311) 14 大崎電気

得	0	0	3	0	3	4	0	0	2	0	8	4
新	川	谷	泉	田	見	瀬	若	野	木	山	井	
日	西	谷	泉	德	吉	洞	脇	日	高	西	藤	
GK												
FP												
審												
清												
水												

○：立ち上がり大崎が4連続得点して好スタートを切ったが、シュートミスをくり返している間に日新がペースをとり戻し、GKの好守で後半はワンサイドゲームとなる。

△第2週第1日(6月18日)▽
○京都府立体育館(京都)
大崎電気 27 (1512) 11 20 三陽商会

○：大崎は開始直後から三陽2番にマンツーマンディフェンスを

○：前半、日新は西山、三陽は関を中心に攻め、15分3対3となつたが、その後日新は西山のロング、アシスト等で得点し、差を広げて13対8で前半を終った。後半、三陽は西山を密着マンツウに出たが、日新は他の選手が良く動いて得点し、差を縮めることが出来ず31対23で終った。

得	0	0	5	1	7	0	0	0	2	0	12	4
新	川	谷	泉	田	見	瀬	若	野	木	山	井	
日	西	谷	泉	德	吉	洞	脇	日	高	西	藤	
GK												
FP												
審												
中												
村												

○：前半、日新は西山、三陽は関を中心に攻め、15分3対3となつたが、その後日新は西山のロング、アシスト等で得点し、差を広げて13対8で前半を終った。後半、三陽は西山を密着マンツウに出たが、日新は他の選手が良く動いて得点し、差を縮めることが出来ず31対23で終った。

○：前半立ち上がり動きの固さが見られる大同は、大崎の早いぶしに合って前半14分をやっと3

○：前半立ち上がり動きの固さが見られる大同は、大崎の早いぶしに合って前半14分をやっと3

○：前半立ち上がり動きの固さが見られる大同は、大崎の早いぶしに合って前半14分をやっと3

○：前半立ち上がり動きの固さが見られる大同は、大崎の早いぶしに合って前半14分をやっと3

○：前半立ち上がり動きの固さが見られる大同は、大崎の早いぶしに合って前半14分をやっと3

得	0	0	1	5	0	4	6	3	1	2	0	2
村	清	中	口	野	実	原	本	井	生	川	村	
GK												
FP												
審												
島												
崎												

○：前半立ち上がり動きの固さが見られる大同は、大崎の早いぶしに合って前半14分をやっと3

○：前半立ち上がり動きの固さが見られる大同は、大崎の早いぶしに合って前半14分をやっと3

○：前半立ち上がり動きの固さが見られる大同は、大崎の早いぶしに合って前半14分をやっと3

○：前半立ち上がり動きの固さが見られる大同は、大崎の早いぶしに合って前半14分をやっと3

○：前半立ち上がり動きの固さが見られる大同は、大崎の早いぶしに合って前半14分をやっと3

対3に迫いつき、25分まで一進一退のゲーム展開となったが、蒲生の速攻からようやく点差が開き、13対10で前半を終了した。

後半に入って大同は蒲生にマンツーマンを受けてボールの展開が、かみ合わなかったが、15分過ぎ柳川の速攻からようやく大同らしさが見え、後半大崎を突き放した。

○今治市立体育館(愛媛)

湧永製薬 19(9-11)17 本田技研 鹿 10(6)17

得002210100472
【永】城藤上駒積本賀川田本本田
【湧】大井池生穂藤志中内松山原
GK 大井池生穂藤志中内松山原
FP 審・野村
【本】畑尾木松井岡井屋野本上野
【大】中佐三喜豊玉栗猪坂尾田
得00224001110333
17 (3) PT (4) 19

○：前半15分まで7対4と本田がリード。

本田のディフェンスが良く、また、坂本、三本松、尾上の好プレーで11対9と本田リードで前半終了した。

後半、湧永もじりじりと差を詰め、16分にやっと同点に迫いついた。

そして、湧永は松本のポスト、生駒もロングで逆にリードを奪い、19対17の2点差で逃げ切った。

△第3週第1日(6月25日)▽

○四日市市体育館

日新製鋼 26(12-14)22 本田技研 鹿 18(4)22

得0055402003026
【本】畑尾木松井岡井屋野本上野
【大】中佐三喜豊玉栗猪坂尾田
GK 大井池生穂藤志中内松山原
FP 審・川島
【新】川谷泉 田見瀬若野 木山井
【西】谷 徳吉洞脇日 森 高西藤
得00112210043933
26 (2) PT (3) 22

○：前半開始早々、日新・西山、本田・田野のロングで始まる。徐々に本田ディフェンスの甘さを日新がつか、ポスト、ロングと多彩な攻撃をしかけ、25分過ぎ9対3と差が開く。その間本田もロング、サイドとシュートをねらうも、日新GK西山の再度の好プレーにはばまれ散発。一方、日新のリズムに乗った攻撃がやまず、西山、森の活躍で10点リードで前半終了。

後半に入り、本田も気力ある攻撃をしかけ、佐々木、田野などの活躍で18分過ぎには4点差まで縮めるも、日新あせらずに加点、本田の追撃をかわした。前半の大差がものをいった試合であった。

△第3週第2日(6月26日)▽
○神戸市中央体育館
大 同 24(12-12)16 日新製鋼 11(5)16

○：開始3分、三陽がペナルティで得点、両チーム共動きが鈍く

シュートミスやパスミスが続出、12分まで2対2のスコアであった。前半の終盤頃から湧永の動きが良くなり、速攻で加点し前半は10対7と湧永リードで終了。後半に入り両チーム共動きのテンポが早くなり、迫力あるプレーが展開された。三陽も良く追いついたが、ミドルシュートの甘さが逆速攻につながり、これが最大の敗因といえる。

△第4週第1日(7月1日)▽
○大阪市立中央体育館
大 同 23(10-13)17 本田技研 鹿 10(13-8)17

得004212000413
【本】畑尾木松井岡井屋野本上野
【大】中佐三喜豊玉栗猪坂尾田
GK 大井池生穂藤志中内松山原
FP 審・井上
【同】村清中口野実原本井生川村
【大】柳田小柳大中河浦市高
得0000024231722
23 (3) PT (1) 17

○：前半は素晴らしいシーソーゲームだったが、残り10分頃から大同のディフェンスがまとまり、着実に得点を重ねていった。特に速攻がよく決まり始めた。後半、本田の攻撃の足が止まり、大同の変則ディフェンスを破ることができず、そのまま大同のペースで試合が運ばれた。

△前期最終日(7月2日)▽
○広島県体育館
湧永製薬 21(10-11)13 大崎電気 10(11-6)13

得003230010822
【永】城藤上駒積本賀川田本本田
【湧】大井池生穂藤志中内松山原
GK 大井池生穂藤志中内松山原
FP 審・岡村
【大】原矢齊東武長松越山宮星大
得000320500020001
13 (3) PT (0) 21

○：前半立ち上がり大崎・長野の得点で先行したが、湧永は原田の連続得点等で15分まで一進一退であったが、その後湧永・生駒のロング、松本、山本の速攻等でリードし前半を終る。後半に入って湧永は着実に得点を重ね10分で16対8とした。

大崎も生駒にマンツーマンにつけ、速い動きで対抗したが点差を縮めるに至らなかった。

女子

△第1週第2日(6月11日)▽
○岩井市民体育館
ジャスコ 12(5-18)11 日 本 7(13-3)11

○：前半は武藤の4得点などで日本ビクターが3点をリードして

得0	2005301001	11
【日】	村根脇藤田藤谷上田賀	
【渡】	志中門武長遠染村池須	
GK	(審・後藤)	
【部】	村岡岡沢林田野丸木藤本村	
【日】	矢木松寺若石鷲十三近宮野	
得0	0006013001001	12
(2)	PT (2)	

折り返した。
ジャスコ寺沢のシュートを再三
ビクターGK渡辺が好守したのも
目立った。

後半は15分過ぎジャスコ寺沢が
得点し、終了7分前同点、4分
前に野村のサイドからの得点で遂
に逆転した。ビクターは終了1分
前にPTのチャンスをつかえし、も
ちとして無念の敗戦となった。

○浦和市民体育館(埼玉)

大崎電気	25	1213	14	北国銀行
		116		

得0	006025170130	25
【崎】	野西 日嶋井部洲賀本玉姫	
【大】	梅大 大宮石渡徳時嘉李李	
GK	(審・栗田)	
【宅】	川木田田 崎田山玉田	
【北】	辻 新中八和中 山藤丸小吉	
得0	026031020000	14
(0)	PT (4)	

○：開始30秒で大崎・石井が先
制。続いて渡部、西と3連続得点。

北国はパスの乱れに苦しみ、10分
にようやく藤田が得点、11分過ぎ
に更に八木が1点を加えたが、応
援団の大声援をバックにはりきる
大崎は、その後も着々と得点をあ
げて引き離し13対8で前半を終了
した。

後半開始後しばらく北国もGK
辻の好守でよく防いだが、4分過
ぎ大崎・西のスカイプレーで1点
を加え、更に徳川の連続得点など
で大崎が得点を重ね北国を突き放
した。

○富岡高校体育館(群馬)

ブラザー	20	119	14	日立栃木
		115		

得0046006100003
【工】添藤原内井村永田岡屋山下
【工】細大杏竹赤中増太松塩森松
GK (審・住尾)

立	谷生高原山屋打田水田本岸	14
【日】	椿葛大栗西土手前清吉山山	
得0	00231100501120	20
(4)	PT (4)	

○：ブラザーがまず2点を連取
してスタート、20分を過ぎるまで
に8対5とリードしたが、日立も
4連続得点、結局9対9で前半を
終了。後半に入ってから日立はブラ
ザーの強いアタックにあっけなく
トチャンスをつかめずミスが多く
なり僅か5得点。これに対してブラ
ザーは2、3、4、6分と得点

を重ね一気に優位に立ってゲーム
を進め、第1戦を飾った。

△第1週第3日(6月12日)▽

○栃木市総合体育館(栃木)

日立栃木	21	147	15	大和銀行
		118		

得00034003200021
【大】高松鈴若前馬天高西秋川
【立】谷生高原山屋打田水田本岸

【日】	椿葛大栗西土手前清吉山山	21
得0	00513110500132	
(5)	PT (3)	

○：大きな声援を受けての日立
が後半に奮起して地元での勝利を
ものにした。日立の大高、前田の
健闘が勝利をもたらした。敗れた
大和の若水の元気なプレーぶりも
目を引いた。

○市川市民体育館(千葉)

大崎電気	29	1712	18	日立本
		117		

得00544003101220
【崎】野西 嶋井辺洲賀本玉姫尾沢
【大】梅大 宮石渡徳時李李松深

【日】	渡 志中門武長遠染村下須	18
得0	02310511002222	
(3)	PT (7)	

○：前半は好ゲームを展開した
が、大崎のGKを中心としたディ
フェンスが良く次第に差を広げ、
日本ビクターは動きがリズムに乗
り切れずに終わった。

△第2週第1日(6月18日)▽

○京都府立体育館(京都)

立石電機	19	811	16	大和銀行
		88		

得0021170200051
【立】井荒是亀イ藤喜岩近山野山
【石】村木枝園田山村藤口嶋内

【大】	高松鈴若前馬天高西秋川	16
得0	00230013002032	
(4)	PT (3)	

○：立ち上がり立石イレシユか
らの好パスを野嶋が先制得点、中
盤まで両チームGKの好守が相つ
ぎ接戦となる。中盤大和が奮起し
て同点に迫いつき、更に立石のパ
スミスを通攻につなぎ逆に1点の
リードをし会場を湧かせたが、17
分立石・藪田がPTを落着いて
決め11対8で前半終了。

後半開始直後から7分過ぎまで
立石の一方的な攻撃が続く14対8
と差を開く。が、10分過ぎから大
和が反撃を開始し2点差まで詰め
寄るが、13分立石・野嶋のロング
が決まる。その後一進一退の好ゲ
ームを展開したが、結局19対16で

立石が勝利を握る。

△第2週第2日(6月19日)▽

○徳山市民体育館(山口)

日立本	16	115	16	日立栃木
		119		

得05104203010
【日】志中門武長遠染村下須
【日】村根脇藤田藤谷上田賀

【立】	谷生高原山屋打田本岸	16
得0	0032111080001	
(4)	PT (5)	

○：前半5分、日立は3対0と
リードしたがその後得点差を広げ
ることが出来ず、15分まで得点な
しと攻めあぐんだ。その後、両チ
ーム共良く動き、前半は7対5と
日立リードで終わった。後半ビク
ターはカットイン、ポストでPTを
誘い、13分同点に迫いつき、そ
の後一進一退の好ゲームとなった。
残り1分でビクターは1点リード
していたが、日立はビクターのパ
スミス拾って速攻、PTを得て
前田がこれを決め、結局16対16の
同点で引き分けた。

○露橋スポーツセンター(愛知)

立石電機	21	1212	16	ブラザー
		914		

○：立石はイレシユの動きに合
ったプレーで得点を入れ、ブラザ
ーは立石の動きにディフェンスが

得0064040101000	工	添敷原内井村永田岡谷山下	21	(2)	PT	(2)	16
【	煙	大杏竹赤中増太松塩森松					
GK							
【	村	木枝園田山村藤口嶋内					
立	井	荒是亀イ藪喜岩近江野山					
得0033020042232							

つげず、退場者3名を出したのが大差になった。後半は立石はイレシュを出さず、ブラザーは否原が5得点をあげ追い上げるが、立石GK・井村の好プレーに助けられ2勝目を収めた。

△第3週第1日(6月25日)▽

○四日市市体育館(三重)

ジャスコ	23	(1211)	5	7	12	日立栃木
------	----	--------	---	---	----	------

得0011100040214	【	部	村岡	沢星林田野丸本村藤	23	(6)	PT	(4)	12
立	谷	生	高	原山屋打田水田本岸					
GK									
【	日	梅	高	大栗西土手前清吉山山					
得0010100300043									

○：立ち上がり両チーム共固さが残り、スローペースで10分まで互角の展開。13分過ぎに寺沢がペナルティスローを決めたあとジャスコが本来のペースをつかみ、速

攻が決まりだして前半をリードした。後半立ち上がり日立も健闘、3点差まで詰め寄ったが、中盤以降ジャスコに一日の長があり、日立に大差をつけた。この試合でジャスコの寺沢がペナルティ4得を含む11得点と目立った。

△第3週第2日(6月26日)▽

○神戸中央体育館(兵庫)

大崎電気	27	(1611)	109	19	大和銀行	19
得0023004402112	【	和	本	木杉田水渡谷橋野成添		
GK						
【	高	松	鈴	若前若馬天高西秋川		
得0080805500122042						

○：試合開始後、大和・若水が大崎・李相玉をマンツーマンしたことが功を奏し、前半2ゴール差で終了。後半も15分まで一進一退の好ゲームとなったが、大崎は李相玉の好配球、西、石井の活躍で大和を振り切った。

○宗像市民体育館(福岡)

立石電機	28	(1513)	9	9	北国銀行	18
------	----	--------	---	---	------	----

○：前半の両チームの攻撃は、立石が速攻とカーヤのポストプレー、北国が八木のパスプレーを中心に展開された。立石は北国のミ

得002701202103	【	北	国	宅川木玉田崎田山田西	18	(1)	PT	(3)	28
立	石	村	木枝園田村藤口嶋内						
GK									
【	井	荒	是	亀イ藪岩近江山野山					
得0013430066140									

ドルシュートをよくカットし、前半4点差で終了する。後半、北国は八木の活躍で追いつくが、カーヤのポスト攻撃やパスカットからの速攻で、結局10点差で終了する。両チーム共パスミス、シュートミスの多いゲームであった。

△第4週第1日(7月1日)▽

○大阪市立中央体育館

大和銀行	23	(1310)	1210	22	ビクタ	1本
------	----	--------	------	----	-----	----

得0151020031000	【	日	渡	志中門武長遠染村池下	22	(7)	PT	(3)	23
GK									
【	和	本	木杉田水渡谷橋野成添						
得0033100533020054									

○：開始30秒、大和はパスカットよりチャンスをつかみ、若杉の速攻で先制。一方、日本ビクターも直後に志村のミドルで応酬、以

後両チームキーパーの好守もあり前半は10対10の同点で終了した。後半開始早々、日本ビクターは染谷の速攻で先行し、6分30秒には多彩な攻撃により15対10と得点差を広げ逃げ切るかに見えたが、大和銀行は7分過ぎよりリズムに乗り、16分には秋成のペナルティで同点とし、17分に川添のロングで逆転した。以後一進一退であったが、大和は28分、29分に連続得点をあげ、勝利を確定した。

△前期最終日(7月2日)▽

○広島県体育館

ブラザー工業	21	(912)	78	15	北国銀行	21
--------	----	-------	----	----	------	----

得0033005520300	【	工	添	敷原内井村永田岡下藤田	21	(4)	PT	(0)	15
GK									
【	北	国	宅	川木田崎田山吉西					
得0041221400221000									

○：前半立ち上がりブラザー・杏原、中村が得点し、10分で5対2とブラザーがリードしたが、その後北国はよく食いついて、12対8とブラザーのリードで前半を終える。後半に入り、北国・中田、竹と連続得点で2点差まで迫っていたが、ブラザーは10分より4連続得点で北国を突き放した。

実績と信頼の公式試合球

イルマボール



日本ハンドボール協会検定球 HL-3, HL-2



ALLOVER THE WORLD

IRUMA

ハンドボール

入間川ゴム株式会社

東京・埼玉・大阪・名古屋

二部前期リーグ

男子 中村荷役が全勝

女子 東京重機が先勝

男子

▽6月11日(ジャスコ体育館)

トヨタ 25 (1213) 1013 大阪ガス

中村荷役 28 (1612) 77 日鉄建材

三景 29 (1613) 129 21 本田技研

大阪イー 31 (1516) 1315 28 自トヨタ

▽6月12日(ジャスコ体育館)

日鉄建材 20 (1010) 89 17 本田技研

中村荷役 24 (1311) 1212 24 車トヨタ

自トヨタ 27 (1413) 1311 24 三景

大阪イー 28 (1810) 115 16 大阪ガス

▽6月25日(大崎電気体育館)

中村荷役 25 (169) 711 18 本田技研

三景 26 (1115) 118 19 大阪ガス

トヨタ 31 (1615) 1112 23 車トヨタ

大阪イー 32 (1814) 917 26 日鉄建材

▽6月26日(東京重機体育館)

トヨタ 28 (1414) 1015 25 大阪イー

中村荷役 25 (187) 89 17 大阪ガス

【車】藤本長原口井原藤島塚笹

【工】近山藤秋浜松石佐中大阪

【GK】貴田野田本尾谷本瀬本

得【信】木源飯辻杉三勝成岩

本田技研 33 (1716) 1514 29 自トヨタ

24 (1) P T (2) 23

三景 25 (1312) 86 14 日鉄建材

【ガス】得0003320020340
【森】田野本志井内田谷田村崎
【福】奥岩竹藤竹藤新長中山
【GK】塚橋田本口窪木成尾田田
【FP】審・水越
【笠井】
得【飯】高飯松坂西大大戸辻三塚窪
00141319050501

25 (2) P T (3) 17

【本】得0008100126510
【上】所江永崎伯村江田
【熊】岩田齊入岩岡佐中館益
【GK】
【FP】審・青木
【浜田】
得【自】玉中城小高相近川香大久松
000380002650014
得【動】津西原山木本藤田井川本永
000380002650014
得【車】津西原山木本藤田井川本永
000380002650014

29 (3) P T (3) 33

【景】得000434036203
【村】田飼畑山倉部藤田谷村
【中】野大田藤白岡近山大奥
【GK】
【FP】審・栗田
【栗田】
得【日】鉄輪上本原原辺川山口本村山
00101003045110
得【日】鉄輪上本原原辺川山口本村山
00101003045110

14 (3) P T (1) 25

▽6月12日(栃木市総合体育館)

東京重機 21 (147) 87 15 ムネカタ

【ム】岩清藤岡吉小石大石鈴佐和

【GK】瀨井本村田島野山前辺田田

得【重】深石中香森福小沖大渡安矢
005200056003

21 (7) P T (3) 15

日本リーグ 前期の回顧

五輪予選を控えて活気

男子 開幕決戦で勢に乗る湧永

オリンピック予選を今秋に控えているとあって、選手も観客も例年になく燃えている印象で、男女とも、なかなかの活気をみせた。54年の前期から、やや下降気味だった観客動員も、一会場平均一四一七人と久々に千四百台をマーク、好ムードを裏付けている。

開幕戦で、湧永×大同を組みこんだ男子は、津川新監督の湧永が勝ち、そのあとの4試合も、無難に切り抜けて、第二回(昭52)以来の首位折り返しを遂げた。山本、松本、穂積の巧者トリオに、池ノ上、生駒の巨砲ペア、志賀、GK井藤の守備力という布陣は、さすがにスキがない。試合は、引きにも富んで、進境を示す日新も、本田技研も、局面的には互角に戦えても、最後は突き放された。津川監督は「せり合った時の組み立て役がまだ不十分」というがこの面で池ノ上が成長すると、い

日本が生んだ世界のボール

日本ハンドボール協会検定球(J・H・A)



タチカラシムレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れたL・B・C中空製法です。

TACHIKARA

タチカラ株式会社

っそう厚味が出る。

それは、ナショナルチームにとっても、待たれることなのだ。

一步を譲っている大同は、当然のことながら、八逆転優勝Vに白信満々だ。

特に、湧永戦で11-15から14-15に追撃を果らせているのは大きい。

蒲生、大原、柳川、中本らベテランの力が、依然として主軸だが、後期は高村(日体大出)の活躍と、田口の奮戦が勘定できる。

二強の一角を切り崩せるのではとみられていた日新、本田は、やはり、地力という点で、物足りなさが残る。

本田は、GK大畑の好プレーで湧永を苦しめたが、昨年の全日本総合同よう、終盤で固さをのぞかせ、またしても情しい星を落した。

日新は、湧永の乱調につけこんでせり合ったが、主導的は握れず大同戦も、射ち合いに持ちこんだものの、ペースはつねに大同のものだった。

西山にいつそう鋭さ加わり、本田をおさえて、三番手には、定着した印象だが、さらに上をみての健闘を望みたい。

あらゆるところで指摘されるがいつまでも、優勝争いを湧永、大同にまかせ放しでは、リーグそのものの発展が果たされない。

大崎、三陽の関東勢は、今季も

平凡な星に終った。

大崎は、ホープ山本(大阪体大出)、GK矢内(国士館大出)が日本リーグの雰囲気になれば、かなり働きそうで、後期の伏兵ぶりに興味をかけた。

三陽は砂川がPT得点で一位になるなど着実なところをみせたが相変らず守りが難で、(5試合10失点)、この弱点を、どうカバーするかが課題だろう。

女子は三強が順当に勝ち星を……

女子は、上位カードといえは立石ブラザーぐらい。

強豪にとってはトライアルがつづき、順当な結果で終わっている。

予想どおり3勝でトップに並んだ立石、大崎、ジャスコはそれぞれ持ち味がよく出ている。

新鋭主体で一まつの不安を抱かせたジャスコもGK矢内を守りの要(かなめ)に残したことが大きく、寺沢の攻撃力も、かなり力強くなってきた。

立石は、やはりイレシユを中央に据えた守りの固さが光る。

ブラザー戦の制勝などは、その好サンプルで、大崎、ジャスコも攻め崩しには骨をおりそう。

もちろん攻撃もいい。名手、木下が抜けて展開力に心配があったが、飯田、近藤、江口らが思い切りのよいプレーをみせ、イレシユ

全般的には、二強の強味はあるものの、一六位間のレベル差が詰まり、内容のある試合が多くなっている。

後期への期待をいつも以上にそえられるのだが、国際事業とのからみで、来春(一月二十七日〜二月十二日の予定)まで日程で持ちこされたのは、なんとも味気ない予め対応できたことだけに、関係者の無策は責められよう。

も脚力の衰えはあるが、ここぞという時のポストでは、威力をみせる。

大崎は、李京姫が出遅れているが、李相玉が絶好調、石井、宮島徳潤、ベテランの主砲・西らの攻撃陣も冴えている。

三強に比べブラザー以下は安定感に欠ける。

大崎、ジャスコ戦を残すブラザーには、まだ優勝の望みが残っているが、杏原がマークされるととたんに攻め口が乏しくなるのを、後期までに、どうするかだ。負傷した増永の復活が待たれよう。

日立、ビクターは、かつての活気にかける。

前田、大高の日立、志村、武藤のビクター。十分に上位戦線に加わるパワーを持っているのだ。奮起を待ちたい。

大和は各試合に善戦、リーグを盛りあげたのは賞しい。後期のジャスコ、ブラザー戦は、あるいは、もつれるのではなからうか。

八木一人の北国は、竹、藤田らにみるべきものがあり、Bクラス戦線をイキの抜けないものにしていく。

二部(男子)は、トヨタ車体がイーグルスを降す金星があり、新加盟のトヨタ自動車も三景を破る殊勲。三勝一分の中村荷役がトップに立っているもの予断は許さず大混戦の様相である。

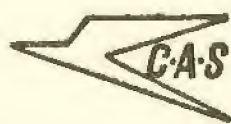
個人タイトル争いは、これからが勝負どころだが、男子シュート率で、柳川(大同)が、7連勝を狙う松本(湧永)をおさえているのが目立つ。

男子のポイントでは、フィールドゴールと合わせて、西山(日新)が蒲生(大同)をしのいでトップ、女子は予想どおり、フィールドゴールでは八木(北国)、ポイントでは志村(日ビ)が各一位。

シュート率は宮島(大崎)が唯一人七割台で走っている。

男子・山本(湧永)の連続試合得点はついに65。立石のチーム連勝22とともに、この先、どこまで突進するか、大きな楽しみといえよう。

(S)



セントラル航空株式会社

運輸大臣登録第287号一般旅行業

本社・営業所 〒104 東京都中央区京橋1丁目16番10号
(芳沢ビル1階)

TEL. 03-562-8931(代)

大阪支店 〒541 大阪市東区淡路町5-26-1

TEL. 06-201-3665(代)

●第11回インテラムニアカップ

日本女子ジュニア 初優勝を飾る

山崎 武

女子ジュニアナショナルの登竜門として、国際経験として、また我々スタッフは海外での適応力を知り、諸外国のハンドボールの攻防の知見と情報を得ることを目標として、昨年に続きこの大会に参加した。

3日余りの合宿を行ったものの選手全員が揃ったのは出発当日。不安がないと言えは語弊があるが何故か意外と落ち着いており、不

思議と緊張感は一瞬、選手とも感じなかったのは、昨年の経験者がいたせいであろうか。あるいは、24時間、2万km先の事であるせいであろうか……。

今回の我々の相手国は、イタリア、フランス、カナダ、台湾、ガボン（ヨルダン是不参加）の5カ国。昨年の覇者、中国の参加はなかったものの、力の差はあまりないと思う。

▽第1戦（7月4日）
選抜とは思えないまともな日 本 27(15|12) 21 イタリア

○：初戦の相手は、地元イタリア。ロングヒッター武藤、ゲイムメーカー秋成を欠いての日本。立ち上がり、いきなり塩屋、山岸

が警告を受け不安なスタート。8分を切る頃、山岸のロングをきかけにゲームが流れはじめ、以後一進一退の攻防が続く、前半辛くも2点差で折り返す。

後半、日本は全員がよく動き、山内、野嶋のシュートが連続して決まり、加えてGR竹下がよくシュートをカット、後半15分には22

対15とゲームの流れから見て勝利を確信出来た。エースなきチーム

まさに今回の日本チームの特徴である。それだけに、全員がお互いをカバーし合い、選抜とは思えないまともなプレーを示した第1戦であった。

△得点▽若水2、塩屋1、山岸3 時実6、小口5、野嶋4、山内5 近藤1

▽第2戦（7月6日）
最強フランスに劇的引き分け 日 本 31(14|17) 31 フランス

○：今回参加国のジュニアナショナル部門で最有力チームのフランス、加えて会場は満員の観衆、これ以上の舞台はない。日本は第1戦で見せたまともなプレーが出るか。選手の足は軽いと谷口コーチ。

フランスのスローオフ、開始1分、相手反則に乗じ小口の速攻で幸先よいスタート。2分野嶋のステツブシュート、3分若水のステツブがフランスの技を抜いて決まるがフランスも力強いカットインとロングで一步も譲らず、試合は流れる。前半14分山内のミドルシュートが決まり、10対8とした時山内が突然倒れる。捻挫。日本のリズムが崩れる。逆にフランスのリズムにゲームが傾く。25分には14対14となるも終了2分前山岸がロングを2本決め、辛くも2点差で前半を終了。

後半もフランスのペースで試合が進められ、15分には25対25と同点。日本もシュートこそ打つが決まらず苦しい戦いとなるも、時実、塩屋がディフェンスで頑張りスタンドを興奮させる。終了2分前、31対30とフランスが逆転、しかも野嶋の反則退場で絶体絶命のピンチ。しかしながら、ラスト攻撃、大きく回り込んだ山岸のロングシュートが決まり、劇的な引き分けに持ち込んだ。

△得点▽若水6、塩屋2、山岸4 時実1、小口9、野嶋8、山内1
▽第3戦（7月7日）
事実上の決戦に勝つ 日 本 36(16|20) 32 台湾

○：事実上の優勝戦。会場を二

若者の街で、いま、好評です



ホテルサンルート東京

新宿駅南口徒歩2分

客室 600
レストランバー「クリッパー」
スナック&バブ「ティンバー」・カフェレストラン「キャリオカ」・日本料理「車屋」・中国料理「源和園」・結婚式場・大小宴会場

渋谷区代々木2-3-1 375-3211

分する応援、異様な雰囲気の中で
のスタート。いきなり立ち上がり
3点連取されるも、5分塩屋のカ
ットインシュートをきっかけに野
嶋が立て続けにステップ、塩屋の
ペナルティを野嶋が決め、試合を
振り出しにする。リズムに乗った
日本は、7分から服部のペナルテ
イまで何とロング、速攻、ポスト
と10点連取の素晴らしい猛攻を見
せ、15分には12対9と逆転するも
台湾のエース劉に案々と得点を許
し、前半はイタリア、フランス戦
に続き2点差で折り返す。

後半20分、日本若手の近藤、森
山、服部がよく頑張るもついに29
対29の同点。この直後22分、若水
のサイド攻撃をきっかけに、前半
について2度目のかため取りが開
始。若水、小口、野嶋、野嶋、小
口、若水と7連続得点。守っても
時実がよくリードし、台湾の攻撃
をラスト10分3点におさえ、5月
のアジア予選より強力メンバー
(鈴木、谷口評)と言われた台湾
を破った。今日の日本チームの勝
利はまさにチームワークと彼女た
ちの集中力が勝負所で発揮された
ゲームであった。

なお、この試合でGK竹下が太
腿筋上部に筋断裂を起こし、山内
について2人目の負傷欠場をよぎ
なくされる。

△得点▽若水5、塩屋4、時実4
小口10、野嶋12、服部1

▽第4戦(7月8日)

今大会二度目の引分け

日 本 23(15-8) 23 カナダ

○：星のつぶし合いの中、今日
勝てば優勝、負ければ3位。入念
なミーティングの後試合開始。ス
タッフの起業を吹き払うかのよう
にGK大西の好守を軸にスピーデ
イな攻撃を重ね、前半15対9と初
の6点差で前半を折り返す。

後半、時実の警告を皮切りにデ
イフェンスが乱れ、カナダのロン
グを立て続けに決められ、開始10
分には16対15と貯金は早くも1
点。17分には同点、ムードは完全
にカナダペースで進められ、20分
には塩屋が退場、27分には時実が
退場とまさに絶対のピンチ。ここ
をGK大西の思い切りのよいキー
ピングが日本を救う。28分には若
水のペナルティを小口が、そして
29分小口のサイドと1点のリード
で逃げ切るかに思われたが、カナ
ダの最終攻撃、終了間近にロング
を決められ、今大会フランス戦に
次いで2度目の引き分け。

しかし、この時点でフランスが
台湾に勝たない限り日本の優勝は
ほぼ確定的となった。

△得点▽若水1、塩屋1、山岸5
時実3、小口6、野嶋7

▽第5戦(7月9日)

全員得点で優勝飾る

日 本 27(21-6) 10 ガボン

○：予想通り？ 台湾がフラン
スに勝ち、日本はこの試合に勝て
ば自力優勝と慎重なスタート。立
ち上がりガボンのスローペースに
巻き込まれ、10分までに2つの警
告、1つの退場をとられベンチを
いらだたせた。ようやく13分若水
のカットイン、若尾、近藤の速攻
でリズムをつかみ得点を重ねる。
加えて、デイフェンス面ではガボ
ンの攻撃を早く読み、早いチェッ
クでつぶし、前半失点を2点に押
えて折り返す。

後半、近藤、時実の速攻と得点
を重ねるも、ガボンもようやく日
本の攻守に慣れ、強引なカットイ
ンで得点を重ねる。しかし、余裕
を持った日本は、下條、近藤、森
山らが生き生きと走り、打ち、ラ
スト15分には22対6と嬉しい国際
大会初優勝を不動のものとした。

なお、このゲーム日本選手が全
員得点。

△得点▽若水2、塩屋3、時実3
小口6、山岸1、野嶋5、下條1
松尾1、近藤4、森山1

ホンジー招待に参加
この後開かれたホンジー招待ハ
ンド祭りは、オープン参加の形で

行われ4試合経験をつませる事が
出来た。ここではテラモの大会の
反省を含めて、今年初参加の若手
の経験をより積ませる事、ジュニ
アの長所、短所の確認を目標にゲ
ームを行った。結果は次の通り。

▽7月13日

日 本 14-11 カナダ

イタリア 30-29 日本
△得点▽若水4、武藤10、塩屋1
時実3、小口3、野嶋5、下條1
松尾2

▽7月13日

日 本 33-15 ガボン

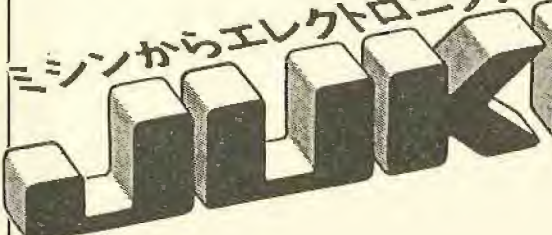
△得点▽若水1、武藤3、塩屋1
山岸3、時実1、小口4、野嶋5
下條2、松尾4、森山3、近藤4
服部2

日 本 33-20 チェコ

△得点▽若水2、武藤8、山岸6
小口9、野嶋3、下條1、近藤2
服部2

以上のように7月4日から13日
まで、各国ジュニアナショナルを
相手に9試合を消化し、初期の目
的に達せられたものの、今大会の
優勝が日本の力とは誰かが言いき
れない。今秋、第4回世界女子ジ
ュニア選手権、同じゾーンには中
国、韓国はじめポーランド国際大
会で優勝した東ドイツと強敵ばかり
である。日本の将来を占う意味
でも選手ともども残された期間、
山とある課題を消化すべく努力あ
るのみである。

ミシンからエレクトロニクスまで



ジューキ

東京重機工業株式会社

●工業用ミシン ●家庭用ミシン ●電算機周辺機器 ●家庭電気製品 ●事務機 ●縫製附属機器

第10回世界男子ハンドボール選手権大会を觀戦して

情報録画による

世界的視野を広めよう

新しいファン層の発掘と指導者・選手には

世界の技術の流れを説明する大きな意義

小 西 博 喜

〈関西学生ハンドボール連盟副理事長〉

素晴らしい興奮を生む大試合

1982年3月、われわれ関西学生ハンドボール連盟は、初のヨーロッパ遠征試合を実現すると共に、第10回世界男子ハンドボール選手権大会（於西ドイツ・ドルトムント）の順位決定戦・優勝戦を2日間にわたって観戦する機会が与えられた。誰しも一度は直面したい世紀のクライマックスの場を体験できたのである。今以てその感動が甦えつつあるほどだ。

観客16,000人を収容した館内は、さすがに熱気をはらみ興奮のつぼである。世界各国役員関係者の民族衣装をまとった雰囲気は、矢張り世界選手権ならではのスケールの大きさとその重味を感じさせた。

試合は体格・体力・気力・技術共に国を挙げてのナショナルリズムに徹し切った壮烈無比のしのぎを削る戦いの場であり、一団の全精力を結集したセットスクラムは、とにかくにもすさまじい火花の一語につきる。

そこには国情の差があるとはいえず、武器こそ持たないまでもボール1個に肉弾相打ちむき出しの表情と闘志が、怒濤のような歓声とともに爆発する時、国民性の根強さが実感として伝わってくる。そして、いつ止むとも知れない大合唱の旋律の中で、果してこの舞台上に日の丸を立てることが出来るのか、出来ないのか、ふと自問自答を繰り返しながら閉会式を最後まで見守ったのである。

もうそこには遠来の客としての外交辞令的同情は期待できないし、仮りにあったとしても、それはすでに過去の遺産であって、現実にはそんなに生やさしい甘いドラマではないと感じた。

ビッグゲームTV放映の夢を……

ところで、このような史上まれに見るドラマティックな大試合を収録して日本に持ち帰り、全国ハンドボールファンの前に、TVを通じて茶の間へ紹介できれば新しいファンを生み出すためにも素晴らしい広報活動であるに違いない。日本人同志で見るハンドボールゲームとはおよそスケールを異にした激闘の試合ばかりで、優勝したソ連のように身長200cmをずらりと並べた壮観さは見事であり、その巨漢から繰り出す想像もつかないようなダイナミックなシュート、ゴールキーパーの緊張感にみちた守備動作、その間隙を突き破っていくユーゴ（第2位）の果敢な切れ味、どれひとつを見ても失敗はまず許されないのが鉄則である。さすがにナショナル代表

として洗練された個人技は随所に見られるが、一旦、ノーマークシュートでもはずそうものなら、怒号と口笛、ラッパなどを使って容赦なく罵倒され、本人は頭をかかえて逃げ出したい位恥かしい思いをしなければならぬ。それ程一挙一投足にきびしい評価と視線が集中する。こんな光景を感受性の強い日本の中・高校生が見れば、まさしく、これが世界ハンドボールのきびしさだ。という感動と深い感銘を受けることだろう。

——と思うと、われわれだけが知っているのが惜しい気がしてならなかった。恐らく見た人は学校体育、社会体育、地域スポーツの底辺に至るまで、従来のハンドボールイメージとは一段と違った認識と動機を与え、共感を呼ぶに違いない。



1982年(WM)男子決勝、ソ連対ユーゴスラビアの息づまる熱闘

ない。そして、若い有能な素材発掘にも一役買うだろうし、ハンドボールのよさは今以上に迫力とセンスを求めるダイナミックなプレーを追って、新しいファンをつくり出すスポーツに変容していくのではないかと期待を抱かせるのである。

しかし、そのためにはまず見て

少なすぎるPR的情報サービス

日本に於ても普及部・強化対策部がタイアップした事業としてスポンサーの提供と合せて年間を通してスポーツ番組を編成し、全国ネットワーク、民放等を取り上げて貰う企画を急がねばならないし、予算編成の面でも検討を要する問題であろう。したがって、そのためにはタイトルをかけた商品的価値の高い(誰が見ても面白い、楽しい、スリルに富んだ、また見たい)試合内容を紹介していかなければならぬ。

現代の人気スポーツである野球、バレーボール、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールなどに比べて、ハンドボールは余りにもこういったPR作戦的な情報サービス(TV録画)の提供が少な過ぎる。

現状はハンドボール指導者、学校体育、社会体育指導者に対して、世界の實力を顕彰する情報や

貰う録画を提供する企画が先決である。

韓国ナショナル監督・柳在忠氏は、世界選手権予選リーグより録画撮りの専門技師を大会期間中滞留し、好カードすべてをフィルムに収録する周到さをみせ、韓国協会の積極的な姿勢が伺われたのである。

機会が十分提供されていないのが致命傷、そのことが中・高校生にとって魅力あるスポーツとして、人気スポーツとしての興味に欠ける直接の原因ともなり、上記スポーツクラブへ選材の頼もしい選手が流れてしまい、2番煎じ、否それ以下でさえも確保出来ないという結果に終り、部活動存続だけでも精一杯といった傾向が極めて多いことを聞かされる。

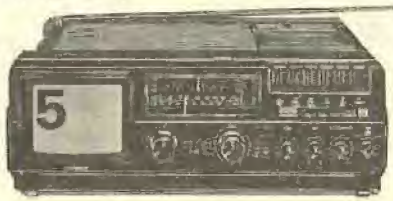
勿論、数多くの指導者が容易に海外遠征出来る機会があればよいが、ヨーロッパのように国境ひとつ越えて行けるようなわけにはいかない。

しかし、経済的には勤務の支障に関係なくTV録画の情報さえあれば、正確な動向がキャッチできる時代でもある。

つまり、日本男女ナショナルチームの海外遠征は云うに及ばず、世界の技術情報や大会の好カード

うちのエース、背番号50。

基本に忠実な選手ほど、臨機応変に動けるものです。基本性能に優れたメカがフォーメーションを組んだ、ビクターのカラカセ50。〈見る・聞く・録る〉を一台でやってくれるマルチプレーヤー。カラーになった1機3役メカです。



カラーテレビ・ラジオ・カセット
カラカセ50
CX-50 標準価格110,000円
(アンテナ・工事費別)

●ビクターへのお問い合わせ、カタログ請求は〔〒100〕東京都千代田区有明3-2-4森山ビル 日本ビクター(株)インフォメーション・センター
TEL東京 03-580-2861へ ●あなたが録画したものは個人として楽しむなどの場合は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

Victor JVC
日本ビクター株式会社

を収録し、協賛企業やスポンサーの提供を開発することによって、全国ネットワークや民放への接渉が実現すれば、日本人の体格、体力を基盤にした技術研究はさらに活発化した論議を呼び、ジュニア対策指導にも拍車がかかるだろう。同時に映画企業とタイアップした映画製作事業も必要な課題となっている。

こうした情報活動の利用により日本チームの勝因・敗因の分析や、戦術、戦力面の比較検討を加えながら世界の実力格差を指導者、選手一人一人が真剣に身近に理解することができるのである。

今、小・中・高校の指導者が最も知りたいひとつは、世界のトップレベルにあるハンドボール技術について、フォーメーションの図解や説明もさることながら各国ナショナル選手のひとつひとつのプレーが、試合の流れの中でどのように展開され、技術的に変化していくのか、各自の目で生きた技術プレーを確かめ、世界的視野を深めて行きたいことではなからうか。

そして、日本選手のプレーが世界的実力レベルと比較して如何なる部分が不足し、弱点となっているのか、今後の現場指導に際し、具体的に何を強化育成し、改善していけばよいのか、技術指導をどのように工夫すればよいのか、それぞ

れの立ち場で指導体系を確立し指針としたいことではなからうか。

機関誌や雑誌の戦況報告やコメント、カット写真の一部分では試合の全貌を把握することは困難であり、ゲームの実感をつかみとることも不可能であろう。要は言葉

録画撮りで底辺のレベルアップを

「百聞は一見にしかず」とよくこの言葉を口にする。その一見を指導者に限らず、あらゆる人達の理解を得るために強く印象づけたのである。それは決して好き勝手という評論家や野次馬的ファンを養成するものではない。物事を客観的に価値判断するためには多くの人達の「ファンの目」が必要であり、逆にそういった客筋のファンが1人でも増えていくことを大いに結構としたい。

また、好き勝手を聞く耳を持つ度量の器もこれからの指導者の資質として、持ち合せることが必要であらう。

そこで、ハンドボール指導者にとつては、まず選手の人材発掘がチームづくりの戦力を占う要素であることから、技術指導と合せて選手強化への糸口となり、将来の抱負をになう選手育成の手がかりをつかむためには、録画の教材提供はどうしても必要なのだ。

そして、それぞれの指導方針に

の伝達や活字数字の表現のみでは指導技術や展開の説得力としては限界がある。矢張り人それぞれの感覚的領域で理解しないと、新しい発想や豊かな国際的感覚といったものは吸収出来ないように思われる。

基づいた次の構想が描かれ、常に世界的視野に立った技術目標が現場の指導に生かされていくものと思う。その意味で貴重な海外遠征のビッグゲームを普及・強化・広報の3本柱として録画撮りの企画作成を望みたい。

現状では確かに人権費、製作費等財源の面で難問をかかえてはいないが、日本ハンドボール界の将来を展望する時、地理的、経済的生活条件等を勘案すれば教育的見地から考えて底辺のレベルアップは直接、頂点強化につながる鍵であり、あらゆる情報化の利用が指導者研修の場でもあるはず。

そのため、録画広報活動の財源確保や、その協力については何をいっても惜しんではならないし、ハンドボールが大衆スポーツとして成長するためのエネルギー源であることを強調したい。

さて、前回の世界男子選手権における西ドイツ協会の資料分析によっても明らかのように、世界各

国のシュートに対するきびしさは言葉に絶するものがある。

すなわち、攻撃の最後は、血肉を切るシュートであり、痛恨のシュートは、絶対に許されないのである。

さらに、積み重ねられたトレーニングの成果は、シュート効率のアップに際しても明確であり、その成否は監督、コーチ、選手自身の責任において問われることが結論である。そのための方針はまず御法度であるようだ。名将とうたわれた西ドイツナショナル監督・ステンツェル氏も本大会で7位という不振の成績により、西ドイツ協会より解雇されるという責任追及の処置で、ひとまず新生西ドイツのスタートを切ったようだ。

本大会で日本は14位という不振の成績に終り、続くアジア大会でも中国に敗れるという低迷現象が生じたが、まず謙虚な反省に立って、再起改善方法のあらゆる機能回復対策は当面の重要課題ではあるが、長期的な予測と推移をみたるが、試行錯誤の努力によって新しい活路と展望が期待出来るものであることを強調したい。

ここに1982年第10回世界男子ハンドボール選手権大会観戦の印象と、さらに熱い願いの一端をこめて拙稿を終りたい。



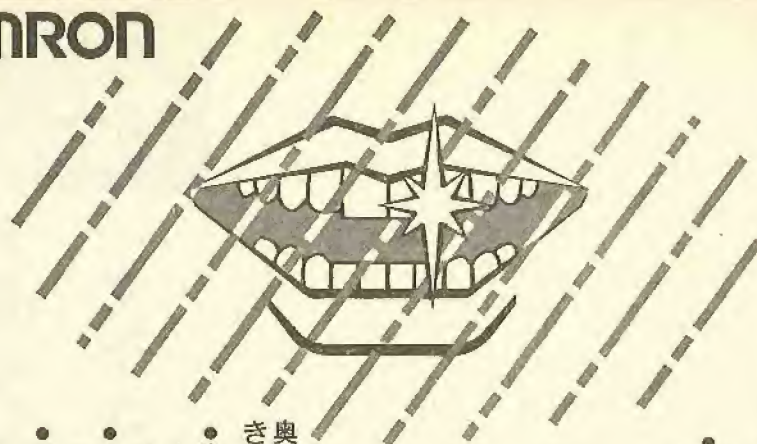
大崎電氣工業株式會社

取締役社長 渡辺 和美

本社 東京都品川区東五反田2-2-7
電話 03 (443) 7 1 7 1 (大代表)
営業所 札幌・仙台・大阪・広島

電力量計・電流制限器
漏電しゃ断器・計器用変成器
配分電盤・監視制御装置
タイムスイッチ

OMRON



「歯」キヲキラ

シャワーで一日の汗を流すように、
歯のよれを落としてシェイプアップ!!

ジェット水流が
歯と歯ぐきを
守ります。

- ジェット水流が歯ぐきの健康により、適度な刺激を与えます。
- 食べカスを洗い流し、口臭を除きます。
- 水流はゆるくも、強くも調整できます。

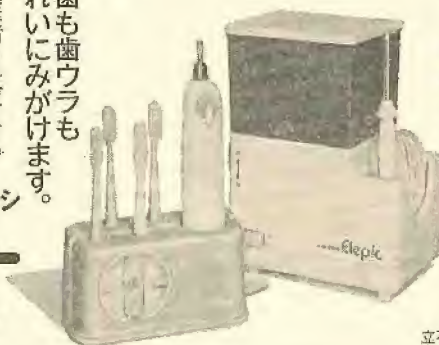
奥歯も歯ウラも
きれいにみがけます。

- 歯医者さんおすすめ
の、正しいみがき方が
できます。
- 7倍の速さでみがけ
るローリング式です。
- 充電式だから、旅行
にも便利です。
- 歯みがきの時間のわかる
砂時計つきです。

オムロン電動歯ブラシ

エレデント

HT-B10 ¥6,480



オムロン口腔洗浄器

エレピッパ

HT-J11 ¥14,500

立石電機株式会社 〒616 京都市右京区花園土堂町10

molten



MTJ 検定球3号
●検定球●不布皮革



ごらんください。独特のリブ形状とパネ
ル間段差。この“32面体ノンスリップ
構造”で確かな手かかりをつくりだした
モルテンハンドボールは、さらにナイロ
ン糸巻構造をばこし、すばらしい耐久
性、真球性をも実現して、日本ではじ
めて国際ハンドボール連盟(I.H.F.)
公認を獲得。ハンドボールの圧倒
的な人気と信頼を集めています。



●日本ハンドボール
協会検定球(J.H.A.)

●国際ハンドボール
連盟公認球(I.H.F.)

「手かかり」が見えた!

独自の32面体
ノンスリップ構造で、圧倒的人気を誇るモルテンハンドボール

モルテン ハンドボール

モルテンコム工業株式会社
本社 広島市西区横川新町1番8号 千733
☎(082)292-1381(代)

第3回 全国クラブ 選手権

大同クラブ(男子)が初優勝 —女子はあゆみクラブ二連勝—

第3回全国クラブ選手権大会は7月22日から24日までの3日間、岐阜県で開催された。

男子24チーム、女子16チームが参加して行われた今大会は、男子が8ブロック、女子が4ブロックに分かれて予選リーグを行い、決勝トーナメントへと進んだ。男子は、元ナショナル選手を擁する大同クラブが実力を発揮、初優勝、女子はあゆみクラブが2年連続2回目の優勝を飾った。

△男子▽

▽予選リーグ

○Aゾーン	16—11	三原ク
ブルーウイ	22—15	ブルーウイ
日川ク	31—14	三原ク
日川ク	18—14	八幡ク
○Bゾーン	16—13	アシスト
新居浜ク	18—13	岐阜ク
アシスト岐	18—13	八幡ク

○Cゾーン

大同ク	32—8	ビッグボスク
大同ク	14—10	四六G会
四六G会	25—17	ビッグボスク
○Dゾーン	18—15	東山ク
氷見ク	18—13	七戸ユニオン
氷見ク	14—12	東山ク
七戸ユニオン	24—10	フェニックス
○Eゾーン	14—10	小松ク
桜門会	23—12	フェニックス
桜門会	24—10	フェニックス
小松ク	23—12	フェニックス

▽準々決勝

二俣ク	30—18	武庫工ク
二俣ク	24—9	二俣ク
二俣ク	12—10	セブンスターズ
二俣ク	22—14	七戸ユニオン
二俣ク	17—12	アシスト
二俣ク	14—8	岐阜ク
二俣ク	14—12	小松ク
二俣ク	17—10	四六G会
二俣ク	16—15	ブルーウイ
二俣ク	16—15	ブルーウイ

▽3位決定戦

岩国ク	20—12	桜門会
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14

△女子▽

▽予選リーグ

○いりーグ	13—13	ポストク
滋賀ク	11—10	滋賀ク
滋賀ク	13—13	滋賀ク
滋賀ク	13—13	滋賀ク
滋賀ク	13—13	滋賀ク
滋賀ク	13—13	滋賀ク
滋賀ク	13—13	滋賀ク
滋賀ク	13—13	滋賀ク
滋賀ク	13—13	滋賀ク
滋賀ク	13—13	滋賀ク

▽準々決勝

二俣ク	30—18	武庫工ク
二俣ク	24—9	二俣ク
二俣ク	12—10	セブンスターズ
二俣ク	22—14	七戸ユニオン
二俣ク	17—12	アシスト
二俣ク	14—8	岐阜ク
二俣ク	14—12	小松ク
二俣ク	17—10	四六G会
二俣ク	16—15	ブルーウイ
二俣ク	16—15	ブルーウイ

▽3位決定戦

岩国ク	20—12	桜門会
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14
岩国ク	8—12	14



創業65年

中村荷役運輸株式会社

本社 〒108 東京都港区芝浦2-3-39

電話 東京 (03) 451-4161(代)

第3回全国クラブハンドボール選手権大会
を開催して

岐阜県協会の理事長 上妻 忠夫

神崎ク	9 11	古都ク
神崎ク	13 11	大曲スボ
神崎ク	9 15	名古屋ク
古都ク	11 13	大曲スボ
古都ク	11 10	名古屋ク
大曲スボ	12 15	名古屋ク

光電ク	19	腕満会
光電ク	18	鶴見ク
光電ク	14	TDKク
腕満会	7	鶴見ク
腕満会	9	TDKク
腕満会	8	TDKク
鶴見ク	10	TDKク

▽準決勝

あゆみク	12
6 6	
6 5	
11	

ポストク

▽3位決定戦

ポストク 24
1410
410
14 光電ク

▽決勝

あゆみク 17
89
66
12 古都ク

得	【古都】	【あゆみ】	得
0	本村	山	0
0	田	辻	5
1	崎	重	3
0	山	平	0
1	野	山	1
2	戸	山	2
0	本	宮	6
2	本	内	0
0	田	有	
0	内	竹	
1	本	内	
		岡	

12 (0) PT (2) 17

昭和51年度より4年間、本大会女子の部の前身である「岐阜カッパ全国女子クラブハンドボール選手権大会」を開催してきた本県にとっては、3年振りに開催するクラブチームの全国大会であった。本県協会は、今までにおいてもこの種の特別行事は数多く実施してきた。そして、その都度、行事の実施とは別に必ずもう一つの目的を持って実施してきた。

大会運営については、参加チームの皆様にして満足してもらええるものではなかったと思われるが、日本協会の適切な指導、助言、東海協会の協力により、どうにか無事終了する事が出来、組織の強化についても、それなりの成果があったので、大会開催は本県にとって価値あるものであったと思われる。唯、今後においても、本大会は継続開催されるであらうから、本大会開催についての問題を提起しておこうと思う。

1、大会期日、会場の決定につい

者側本位の話し合いではなかったろうか。日本協会関係者の適切な指導が何故なされなかったのにか、非常に残念でならない。更に、このような事情から大会日程を7月に変更した事をかなり早くから日本協会へ連絡したにもかかわらず、ブロック予選が申し込み締切日以後にも実施されたという事実もある。

本大会も公式大会となつて3年目、大会期日、会場、ブロック予選等に対する日本協会の主体性を期待すべきなのか、クラブ関係者の意見を尊重すべきなのか、結論

公式大会とはとても思えないような低次元の問題点がある。

また、審判についても、当該地区審判長に一任してしまうという事実等を考え合わせると、本大会の位置付けについても明確にしてほしいと言わざるを得ない。

新しい大会であるがために、試行錯誤的な面はあるのが、お互いスポーツマンであり、大会運営側は運営側として、大会参加者側は参加者側としてのルールは守るべきではないか。

特に、参加者の運営者に対する配慮を期待したい。

更に、クラブチームというものもの性格も明らかにしていかなければならぬであろう。安易に我々はクラブチームという言葉を使うが、本大会の参加チームの中にもいろいろなクラブチームがあった。

一体、この大会ではどのようなクラブチームを対象に考えていく事が最良の方法なのであるが。もっと大きな見方をするならば、ハンドボールの振興計画なる長期的計画がまったく確立されていらないという事である。全休計画の中で、クラブチームというものもの

選手権大会」を自分たちの手で運営し、それを機に岐阜県クラブ連盟の組織が確立できたので、今回は本大会の運営を通して、組織の強化をはかるべく、積極的に取り組んでもらった。

前年度大会開催時に各地区クラブ代表者會議で、8月第1週本県開催が内定したとの事であるが、その時期には全国高校総体が隣りの愛知県で開催される事は以前より決定していたはずである。本大

を出す時期ではないか。今後、主管する都道府県協会への負担軽減のために、明確にしてほしい問題である。

2、本大会の権威について
前にも書いたように、大会申し

3 本大会の将来構想について
今までに述べてきた問題点の解決をはかるうとすれば、そこには当然、本大会の方向づけがなされるはずである。残念ながら、現段階では方向づけがなされていない

の位置づけ、あるいは、クラブチームに期待する部分というものがあるはずである。一地方で、微力ながら精一杯ハンドボールの普及、振興に携わる者として、あえて苦言を呈した次第である¹⁾

特別手記

二度の全国制覇とげた 名門校の血と汗の記録

拝島中10年間のハンドボール

青木

徹〔現多摩中〕
〔元拝島中〕

スタミナと組織プレーの養成

東京の中学ハンドボールの歴史は、都中体連発足と同時に35年の歴史である。僕が前任校の拝島中での10年間で、2度の全国優勝、1度の準優勝をすることが出来たのは、東京の中学ハンドボールのチームの数を増すとともに、全国のトップレベルに育てた諸先輩先生のおかげだといつて良い。

過去に、東京の中学ハンドボールは、現ハンドボール部長である山野圭三先生(現第四砂町中教頭)が指導された深川五中に代表されるハイスピードの組織プレーを中心とした、攻撃型のチームが中心であった。速い走りや速いパスワークとコンビネーションプレーを駆使し、速攻もセットオフエンスも、足を使った攻撃で先手先手と

攻めていくのである。この深川五中と同様に数多く都大会に優勝しているチームに深川四中がある。

このチームも正確なプレー、速い攻撃を主とするチームであった。僕が教員になった年の13年前の都大会では、深川五中の平均身長180センチ程度の選手が、速い走り、パスワーク、コンビネーションプレーで、それよりはるかに大型でパワーのあるチームを何チームも圧倒的な差で破り優勝したのが、今でも印象に残っている。その後、都大会の優勝チームは、大島中、深川四中、大島中、南六郷中、国立二中とかわが、いずれのチームも、スピードを中心とする攻撃型のチームであった。その中には大型のチームもあった

が、大型でパワーにたよるといふより、大型でも、スピードと組織プレーを中心としたチームが主流であった。

東京で勝つためには、5〜6日間にわたって連日行なわれる試合にすべて勝つ体力、とくにスタミナが必要である。しかも、準決勝、決勝では、試合の雰囲気にもまれな精神力が必要となる。その上で、スピードのある組織プレーが出来ないと途中で負けてしまうのである。

拝島中での最初の3年目のチームは、速攻を主とするスピードのある攻撃型のチームを作ったつもりであった。しかし都大会では、その年優勝した深川四中とあたり、速い走りからのロングシュートをきめられ負けしてしまった。それからのチーム作りは、先輩の先生方が作ってこられた東京の中学

ハンドボールの特徴である速い走り、組織的なプレー、しっかりとディフェンスからの速い速攻、これらの出来るチームを目指し、再度チーム作りにはげんだ。

練習の中心は速攻。必ず走ってプレーをすることに心がけ、シュート練習でも、出来るだけ走る距離を長く、スピードをつけて打たせることを心がけた。速攻は必ず毎日1時間以上練習した。2対13対2の練習も速攻の中に組込んで練習した。

こうした中で、5年目のチームは、都大会で準優勝することが出来た。(このチームは、その年関東大会で優勝した佐近山中にも練習試合で勝っている)。

6年目のチームは、新人戦で都大会に優勝することが出来た。そして、その年から関東大会に出場することになる。(その年も含め、

都中体連ハンドボール部は、関東、全国大会に代表を送ることが時期尚早といふことで代表チームを送っていない)その年の関東大会の要項が、都県協会、及び中体連の推薦で出場できるようになっていた。(当時は中学生大会で、中学校大会でなかったのがクラブチームでも出場できた)都協会の推薦を受けて、昭島ハンドボールスポーツ少年団として出場することができた。

当時、滝口都協会理事長始め、多くの都協会の方に御支援、御協力を得られ、また、ご迷惑もおかけした。

拝島中では、学校の教育課程内の活動は、ハンドボール部として行い、それ以外はスポーツ少年団として行っていた。スポーツ少年団としての活動は、春、夏の山中湖での合宿や春休みの名古屋、大阪方面への遠征などが主なものであった。

親もスポーツ少年団の活動に積極的に協力してくれた。特に1回生のキャプテン、現多摩中教諭の山崎先生の父、山崎武一氏には、10年間にわたってスポーツ少年団の会長をお願いし、親のまとも役として、市とのパイプ役、また市への援助のお願いなど、多大な協力をいただいた。いまも感謝の気持ちでいっぱいである。

初の全国大会では苦汁を飲む

この年の関東大会は千葉県君津市の新日鉄の体育館で行なわれた。案に優勝できると思ひ出されたのだが、2回戦に、斎藤先生監督の連田中に苦戦、シーソーゲームの末やっと勝つことが出来た。決勝は比較的案に勝つことが出来た。こうして全国大会へ駒を進めることが出来たが、関東大会後あまり練習もせず、大阪の中央体育館へ乗り込んだ。こんな風だったので、試合に勝てるわけがない。

1回戦は熊本松橋中に1点差で辛勝、2回戦で、永見西部中とは、5点リードしたあと、スタミナが切れ、大差で逆転負け。

第1回の全国大会を、兄と一緒に名古屋にある愛知青少年公園に見にいった5年前と較べ、中学の全国レベルが非常に上がったのにおどろいた。東京もノンビリしていると、全国から取り残されると感じた大会であった。

この翌年、文部省が全国大会を公認したため、都中体連ハンドボール部も代表チームを関東大会に出場させることになった。関東大会が、都大会より先にあるために、区部総体、多摩地区総体の1位同志で出場決定戦を6月に行なった。7年目のチームは、雪ヶ谷中と出場決定戦を行い16対8で勝ち

関東大会へ出場した。

関東大会は埼玉県浦和市の体育館で行なわれ、準決勝では、昨年と同じ斎藤先生監督の埼玉選抜と激突、大接戦の末、決勝へ進むことが出来た。決勝では、準決勝でケガをした、キャプテンの小山（現中大3）年を欠いたまま鬼怒中と試合を行った。点差こそ開かなかったが何とか優勝することができた。全国大会は茨城県の麻生。大会前の2週間は毎日雨、連日体育館で練習を重ね、上位入賞を目指したのだが、開会式当日は大雨がふったりやんだり、グラウンドは雨ですべりやすかった。大会会場から20キロ離れた宿舎に泊った僕たちは、雨天の際は体育館との大会要項を信頼し、翌日は体育館での試合を期待しつつ、睡眠した。

ところが、翌朝5時半、「天候の関係で、試合時間を予定より30分早くしてグラウンドで行う」との電話で起こされ、あわてて試合会場に向かう。試合会場は雨のためすべりやすい最悪のコンディション、第一試合開始8時30分、対戦相手は、第1回大会優勝監督、稲葉先生ひきいる沼路中。関東1位と東海1位とブロック大会1位同志の対戦する唯一の1回戦。雨の

降ったりやんだりの中を試合開始。接戦になることは予想していたが、2年生左腕豊センチの大木（現中大2年）が試合前に足をすべらせネンザし、ロングがきまらず、その上、いつもは5〜6点を相手チームからモグ取るテクニシヤンの近藤（現三景）が不調で、前半2点差、後半に入っても点差

ついに念願の全国制覇成る！

翌年8年目のチームは、大型左腕の大木、2年生ながらテクニシヤンでスピードのある江沢（現中大1年）を主力に、速攻と速いボールまわしからのロング、カットインを中心としたチームを作りあげた。GK宇田川兄（現中大2年）も地味だが確実な守りをしてくれ

た。

ところが、都の新人戦決勝では、大学1年後輩の緑川先生監督の大島中に僅差で敗れ2位。全国大会優勝を目指していただけにショックは大きかった。春休みには名古屋、大阪、和歌山、滋賀と遠征、昨年全国大会へ出場したチームと5日20試合消化。全試合勝つことが出来、希望を夏につないだ。6月の関東大会出場決定戦では、大島中に接戦の末、勝つことが出来、関東大会への出場権をえた。

関東大会は東京八王子市。地元

は縮まらず、試合終了。我々の試合の終わったあと、雨のため試合は体育館に移されるなど、全国大会の中でもっとも悔いの残る試合であった。

このあと、決勝まで残って試合を見学、関東大会2位の鬼怒中が全国2位となり、うらやましい限りであった。

ということもあって、大会の前日まで、諸準備の手伝いを行った。大会では、1回戦から決勝まで比較的案に勝つことが出来、関東大会坪島中として2連勝。関東大会後の都大会では、決勝で大島中と再度対戦、前半で大差をつけたが、後半になって、追い上げられ、追いつけず、全国大会の出場権は得ているものの、チームの精神力の弱さをつくづく感じた。

全国大会は愛知県蒲郡。大会会場と宿舎は歩いて5分。宿舎もすばらしい温泉旅館で、コンディションは最高。1回戦は栗勝、2回戦は、大型チームで強豪の芦城中、始めての対戦に選手は堅くなり、試合開始5分で5点リードされる。この5点差をつめるのに全力をあげる。序々に追い上げ前半で1点差、後半に入りシーソーゲーム、胃がいたくなる試合で、後半終了間際にやっと2点差がつき

勝利。芦城中のポイントゲッター園下君が、前半から元気でフル出場できる状態であったら、試合はどうなっていたかわからない。この試合は、坪島中時代の全国大会の試合で、最も精神的に疲れた試合で、試合後、食事がノドを通らなかった。次の日の準決勝は、下松中、体格差にものをいわせ、力でねじ伏せた。決勝の名石クラブは、春休みに試合を行っているの

で、比較的気楽に試合を進めることが出来た。チーム結成以来8年目にし、念願の全国優勝することが出来た。

隋性の3年生を全員クビ

9年目のチームは「2年連続全国優勝」をキャッチフレーズにスタートした。新人戦は、大学同期の馬場先生監督の優勝した小金井南中に破れた。春休みの遠征も、名古屋、大阪、さらには小松の芦城中へも足をのぼした。5月に入り、昨年の隋性で練習している3年生を全員クビ、もう一度頑張つてやる気のある3年生だけを入部させた。そのため3年3人、2年4人がレギュラーというチームで

再出発。多摩地区総体はやっと優勝、関東大会出場決定戦では、大島中に破れ、関東大会に出場出来ず、その年、全国大会が東京八王子の中大体育館で行なわれるので、地元ワタの出場権が、都大会

優勝チームに与えられるので、すべてを都大会にかける。この年の都は非常にレベルが高く、全国レベルのチームが5、6チームあったため、どのチームが優勝するかわからない状態で都大会が始まった。準々決勝で荏原二市に逆転勝。準決勝では、国立二中に試合終了30秒前の逆転シュートで勝ち進んだ。決勝は中野三中、接戦の末、3年の江沢、市村の活躍によって優勝、全国大会へ進むことが出来た。

その後、全国大会の事務局の庶務として、当時立川一中教頭であった香積先生（現全国二中校長）と共に、連日、案内状の作成、発送、プログラムの作成等を行い、夕方になって拝島中へ出かけ、わずかな時間しか練習することが出来なかった。こんな状態で大会に勝てるのだろうか、不安であった。

下松中に苦杯

全国大会会場は、中大体育館、4面のコートが取れる、全国最大の体育館である。1回戦は、新潟の湯東中に楽勝、2回戦は、沖縄の神森中、3点差で勝ち、準決勝は、その年間東大会優勝の連田中と対戦、ポストブレイ、コンビネーションブレイから速い展開でミドルシュートを打たれ、前半2点差をつけられた。後半に入りミ

ドルシュートに強い2年宇田川弟（現全日本ジュニア）にGKをきりかえ、エース江沢のカットイン、ロングなどで延長にもち込む。延長でも点の取り合いで、1点差で辛くも勝利を握った。決勝は、昨年3位の下松中、大型でスピードのある好チーム。試合開始すぐに4点リードされ、あわててGKを宇田川に変えるが、試合の流れは変わらず前半4-8で終了、後半に入り序々に追い上げるが、3年江沢に、それまでの試合の疲れが、この試合で出たのか、いつもなら入るシュートがきまらず、その上、連攻でも、2年生がサイドからのノーマークシュートを2本立てつづけにはずすなど、

東京のチームらしさで再び栄冠

拝島中最後の年となる、10年目のチーム。

レギュラー全員が、全国、関東大会の出場経験があり、8年目の大木、9年目の江沢といった大型ポイントゲッターはいないが、全員得点力のある、動きの速いチームである。

攻撃のバターンも2、4、センタースリー、を中心にいろいろなバターンで攻めることで、相手のディフェンスの特徴により、また試合の流れによって、攻撃パターンをいろいろ変えた。

あと少しで同点になるチャンスを見逃した。さらにおい逃げムードの中、後半10分、フリースローから2年目黒（現明星3年）が江沢に絶妙なパスを送り、ノーマークで江沢がシュート。ボールがGKにあたり、逆速攻で、逆に点差をあけられ、それまでの追い上げムードが、これでダメ。

試合の流れも下松中のペースになってしまった。あきらめの早い僕は、すぐ全員2年生にメンバーチェンジし、残り10分は、来年度のチームで試合を行った。

決勝で負けたあとすぐ学校に戻り、新チームで練習開始、翌年のチーム作りを始めた。

5月には、再度名古屋の沙路、小松の芦城とも練習試合を行ったものである。

関東大会は、千葉市で行なわれ、すべて大差で勝ち、全国大会へ進んだ。

全国に出場した16チームのうち、8チームと練習試合を行っていたので、精神的には案に大会に臨むことができた。

しかし全国大会は、どのチームもコンディションを整え、練習試合とはまったく異質な雰囲気になるので、心をひき締め、旅館も春と同じ旅館をとるなどして、細かな注意をした。

1回戦芦城中、2回戦は神森中、準決勝、沙路中、決勝永川中と、対戦相手は全国大会出場回数が多いチームばかり（その後第10回で神森、11回で芦城中が全国優勝している）で気を抜くことは許されなかった。

1試合1試合を確実に勝ち進み、決勝も後半で逆転するなど、二度目の全国優勝することが出来た。

10年の間に二度も全国優勝をとることが出来たのだから、こんな幸せはない。これからハンドボール界に微力をつくしていきたい。

先進のテクノロジーで未来を開く



大同特殊鋼

代表取締役社長 秋田 正 彌

特殊鋼材 鍛鋼品 鋳鋼品
帯鋼品 工業炉・機器 その他

本社：〒460 名古屋市中区錦1-11-18(興銀ビル)
電話 (052) 201-5111(大代表)



“まごころのおつきあい”が
私たちのモットーです



あなたの銀行

ホッ コク

北 國 銀 行

●本店 石川県金沢市下堤町 ●店舗 石川・富山・福井・東京・大阪・名古屋・京都・111か店



強い精神力、磨きぬかれた技術に裏打ちされたプレーなら、絶対に勝てる。

確かな相棒—ヒュンメル。ヒュンメルに悔し涙は似合わない!

己の殻を破れ!

DOUBLE
SCORE

株式会社 **ダブルスコア**

大阪市天王寺区上汐5丁目4-22

06-772-2777(代)

すばらしいキャッチング感

ミカサ ハンドボール

世界の

ビッグゲームはミカサ

数多くの国際大会で輝かしい実績

1981 中央アメリカンゲーム(アンゴラ)

1981 世界選手権ジュニア(ポルトガル)

1982 アジアカップ(インド)



国際ハンドボール連盟
公認球



日本ハンドボール協会
検定球

★ MIKASA®

明星ゴム工業株式会社

本社/〒733 広島市南区楠木町3丁目11-2 番(082)237-5145
支店所/広島・東京・大阪・名古屋・福岡

ロサンゼルスオリンピック公式試合球 ★ミカサバレーボール ★ミカササッカーボール



ブラザー電子タイプライターが
1984年ロサンゼルス
オリンピックの
公式タイプライターに
選ばれました。

Electronic
Office
Typewriters

brother®

ブラザー工業株式会社

海外トピックス

TOPICS

ヨーロッパの「全国リーグ」

日本リーグで、その試合方式などを再検討している、という話を聞いた。

そこで、今日は、本場・ヨーロッパの各国リーグのシステムをお伝えしたいと思うのだが、日本との最大相違点は、各国とも、リーグの優勝チームがハナショナル・チャンピオンになることと、入れ替え戦という方式が、ほとんどないことだ。

日本は、いぜんとして（日本リーグが発足して8年にもなるのに）ナショナル・チャンピオンは「全日本総合選手権」の勝者である。この考えかたは、古いしきたりからくるもので、簡単に改められないだろうが、それでは、いつまでも「日本リーグ」は、リーグ以外の何ものでもなくなる。

さて、ヨーロッパでもっとも人気のあるリーグは、西ドイツ・リーグ、いわゆるブンデス・リーグ。14クラブの2回総当り、秋から翌年5月までのロング・ランは、完全なフランチャイズ制が布かれ、今シーズンは約33万人のファンを動員している。

「一チーム32試合のソ連」

近年、多くなりつつあるのが、シーズンの途中で「上級リーグ」と「下級リーグ」に分ける方法である。

いちばん有名なのはソ連で、まず12チームが2回総当りしたところで11位、7位12位に分け、改めて2回総当りを行なう。最終試合数は一チーム32試合となるわけだ。

フランスは、もっとこっていて10チームづつ二組の第一ラウンドをまず2回総当りで行ない、各組上位3チームづつで改めて2回総当り、さらに、その1、2位でグランド・ファイナル（決勝）を争う。

イタリアは、12チーム2回総当りのあと、上位4チームがさらに2回総当りの決勝リーグを戦かう。

スイスもこれはほぼ同じだが、決勝リーグが6チームと多い。

スウェーデンは14チーム2回総当りのあと、上位4チームが決勝トーナメントという変わったシステムを採っている。前期レースで名高いのはボヘーレンだ。

来日クラブのきょうこの頃

今夏来日したフランス代表に二人のステラ・サンモール所属の選手でいてオールドファンをなつかせがらした。

ステラは六四年に来日したチームで、ヨーロッパから迎えた初の強豪クラブであった。

そのあと、男女二十を越すクラブが来日しているが、全国リーグの話を伝えたついでに、近況をまとめてみよう。

西ドイツ勢では、なんといいてもVfL・グンメルスバッハ。今季も圧倒的な力を示し、西ドイツリーグに2連勝（9回目）したほかヨーロッパ・ゴールデンカップ、ヨーロッパ・カップ、西ドイツカップにも快勝している。

このほかTWH・キールは二位、FA・ギョッピンゲンは五位、2部から今季返り咲いたGW・ダン

ンド。

10チームが4回総当り、総試合数180というもので、70年代にいちどだけ50万人台のファンを集めた記録を持つ。

（以上、いずれも男子リーグの例から）。

ケルセンは7位だった。

スペインのバロン・マノ・グラノリエルスも元気で3位、チェコのスラビアプラハは5位。

スウェーデンのドロット・ハルムスタッドは毎年ベストフォアに進出していたが今季は6位とやや不振。

この頃

西ドイツで「スーパーカップ」(11月1日から)

オリンピックと世界選手権の優勝国（男子）だけが参加できるというビッグトーナメント「第3回スーパー・カップ」が、今秋11月1日から6日まで、西ドイツドルトムントを主会場にして開かれる。

西ドイツ協会のドル箱トーナメントともいえるもので、参加国はユーゴ、ルーマニア、スウェーデン、ソ連、チェコ、西ド

イツに今回からモスクワ・オリンピック優勝で「資格」を得た東ドイツが初参加する。七九年の第一回は西ドイツ・フランクフルトの決勝で西ドイツ、八一年の第二回はソ連・モスクワの決勝でソ連が優勝しているが、いずれも記録的なファンを動員、早くも今秋の大会の前評判は上々である。

各地の記録

◆長崎県高校春季選手権

(4月23、24日)

△男子▽

▽1回戦

長崎南 32-8 佐世保東

波佐見 33-18 鹿町工

佐世保西 26-20 長崎北

日大高 35-14 北陽台

佐世保北 17-12 上五島

佐世保南 23-11 西彼

口加 26-24 長崎工

▽2回戦

口加 26-24 長崎工

佐世保西 29-18 長崎南

日大高 28-15 波佐見

口加 18-8 佐世保北

日大高 18-16 佐世保南

瓊浦 25-13 佐世保西

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

瓊浦 23-16 口加

▽準決勝

佐世保南 11-7 長崎北

佐世保北 8-5 日大高

日大高 11-5 長崎北

佐世保北 7-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

佐世保北 4-4 佐世保南

佐世保南 4-4 佐世保北

◆山梨県春季高校

(4月23、24、29日)

△男子▽

▽決勝リーグ

甲府一 20-14 機山工

塩山南 20-20 甲陵

甲陵 28-18 機山工

塩山南 20-16 機山工

甲府一 20-14 塩山南

甲陵 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

機山工 16-13 甲府一

▽準決勝

成和送球 29-14 藤島ク

福井大 12-0 スターズ

福井教員 45-6 成和送球

光陽会 24-20 羽球会

バードボン 23-19 九頭竜ク

北陸電力 33-15 福井大

福井教員 12-0 光陽会

北陸電力 29-8 バードボン

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

福井教員 29-17 北陸電力

▽準決勝

福井商 16-3 羽水

福井女 11-3 科技

高志 14-7 藤島

仁愛女 14-6 福井商

高志 13-4 福井女

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

仁愛女 23-11 高志

▽準決勝

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

青森ク 29-17 青森教員ク

▽準決勝

桃山学院 33-11 阪南

大和川 15-14 羽曳野

東住吉 26-9 成器

上宮 39-6 生野

天王寺 19-9 高津

池島 17-9 住吉

八尾 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

此花学院 23-4 阿倍野

▽準決勝

天王寺 17-5 八尾東

山本 22-5 高津

生野 21-8 東大阪

八尾 17-5 八尾東

天王寺 17-5 八尾東

天王寺 17-5 八尾東

天王寺 17-5 八尾東

天王寺 17-5 八尾東

天王寺 17-5 八尾東

天王寺 17-5 八尾東

天王寺 17-5 八尾東

天王寺

三島	21	15	西寝屋川
長尾	26	20	茨木東
▽2回戦			
大東	23	14	芥川
大東	20	12	門真
淀川工	17	14	四条畷
同志社香里	18	8	茨木
浪商	17	13	枚方
寝屋川	34	17	枚野
三島	32	12	高槻北
春日丘	18	18	長尾
▽3回戦			
大東	24	8	大東
淀川工	16	12	同志社香里
浪商	23	17	寝屋川
春日丘	22	21	三島
▽準決勝			
淀川工	15	6	淀川工
春日丘	19	13	浪商
▽決勝			
春日丘	19	15	春日丘
▽女子			
大東	3	2	関西創価
南寝屋川	19	14	東寝屋川
春日丘	17	3	西寝屋川
茨木	5	3	長尾
寝屋川	18	5	高槻北
芥川	6	2	牧野
守口北	10	3	門真南
▽2回戦			
大東	11	3	大東
南寝屋川	12	6	門真
春日丘	20	0	茨木東
▽男子			
枚方	13	1	茨木
寝屋川	14	9	三島
大阪市立	15	4	交野
芥川	12	3	島本
香里丘	12	4	守口北
▽3回戦			
枚方	16	9	南寝屋川
枚方	10	5	春日丘
寝屋川	12	5	大阪市立
香里丘	11	5	芥川
▽準決勝			
枚方	10	3	枚方
香里丘	10	7	寝屋川
▽決勝			
枚方	9	9	鳥居
府中央大会	3	2	
▽1回戦			
桃山	21	11	泉北
大商	19	17	春日丘
初芝	27	12	大阪学院
都島工	22	11	西寝屋川
天王寺	24	16	三国丘
摂津	25	13	上宮
桜宮	23	12	貝塚南
▽2回戦			
桃山	20	15	大商
此花	19	12	初芝
都島工	22	11	天王寺
桜宮	16	12	摂津
▽決勝リーグ			
桃山	14	14	此花
都島工	10	9	桜宮
桃山	17	15	都島工
▽女子			
此花	17	12	桜宮
桃山	21	9	桜宮
此花	17	11	都島工
〔順位〕①桃山学院②此花学院③			
都島工④桜宮			
▽1回戦			
四天王寺	7	4	宣真
東百舌鳥	11	6	香里丘
摂津	12	7	長野
大谷	14	8	箕面
寝屋川	15	10	泉北
城南	13	11	豊島
鶴見商	18	4	金蘭会
初芝	11	6	枚方
▽2回戦			
四天王寺	18	4	東百舌鳥
大谷	11	7	摂津
城南	16	12	寝屋川
鶴見商	16	12	初芝
▽決勝リーグ			
四天王寺	12	4	大谷
鶴見商	6	5	城南
四天王寺	10	9	城南
大谷	7	5	鶴見商
四天王寺	7	7	鶴見商
大谷	10	7	城南
〔順位〕①四天王寺②大谷③鶴見			
商④城南			
▽京都市府高校選手権			
▽男子			
京都市	24	15	洛北
▽1回戦			
伏見工	22	11	鴨沂
大谷	21	18	桂
堀川	21	7	同志社
城陽	25	19	塔南
洛陽工	23	17	田辺
乙訓	27	20	城南
洛東	12	0	日吉丘
西宇治	17	12	平安
洛水	25	20	桃山
▽2回戦			
東山	24	12	京都商
大谷	27	15	伏見工
洛星	17	14	堀川
嵯峨野	17	15	城陽
向陽	23	16	洛陽工
乙訓	16	9	北嵯峨
西宇治	20	8	洛東
東宇治	36	8	洛水
▽準決勝			
東山	26	10	大谷
洛星	18	15	嵯峨野
向陽	13	9	乙訓
東宇治	29	3	西宇治
▽準決勝			
東山	20	3	洛星
向陽	20	19	東宇治
▽決勝			
東山	18	5	向陽
光華	18	8	鴨沂
西京商	9	4	久御山
洛水	12	0	桂
嵯峨野	13	7	京都商

国内遠征、海外遠征
旅のすべてを
演出します。



旅のplan do see
旅には三つの楽しさがあります。
出発前の計画を練る楽しさ、
自然や風俗、人間にふれる楽しさ、
そして尽きぬ思い出の楽しさと。

京王観光
新宿旅行センター

〒160 東京都新宿区西新宿1-16-4
☎03-346-0061 担当：入江
海外事務所 シンガポール(KE10-SCA)

岩国	修道	倉敷商	江津	松江南	岩国工	△男子▽ ▽1回戦	◇第34回中国高校 (5月8、9日)	東宇治 20 911 71 8東 稜	▽決勝 東稜 9 8 向陽	東宇治 18 7 乙訓	▽準決勝 向陽 11 5 精華	乙訓 9 6 京都女	東宇治 14 7 西京商	▽準々決勝 向陽 10 4 西山	精華 11 10 洛東	東稜 19 7 塔南	明徳商 19 5 西宇治	乙訓 11 5 嵯峨野	京都女 9 6 洛水	西京商 16 5 城陽	東宇治 17 7 光華	▽2回戦 西山 8 3 北嵯峨	精華 11 4 桃山	東稜 14 6 洛北	西宇治 10 8 城南	
26	24	22	22	24	30																					
9	23	20	17	13	7																					
境	倉敷青陵	尾道	境港工	米子西	呉港																					

岩国商	山陽女	岩国商	山陽女	倉敷天城	西大寺	德山	進徳女	總社	温泉津分	山陽女	▽1回戦	△女子▽	岩国工	▽決勝	岩国	岩国工	▽準決勝	下松	岩国	倉敷商	岩国工	▽2回戦	下松	倉敷工
13	16	19	29	17	7	13	11	17	14	15			27		16	19	29	32	22	27	29	26		
6	8	6	5	7	6	11	5	5	5	7			1611		13	6	13	14	15	12	17	8		
3													1011											
7													21											
10	進徳女	德山	倉敷天城	浜田商	境	比治山女	松江市女	米子南商	米子東	徳山商			岩国		下松	倉敷商	倉敷工	修道	江津	松江南	松江工	米子東		

◇石川県一般春季選手権										(5月8、15日)		▽1回戦										◇関東高校茨城県予選										(5月12、13日)		△男子▽										▽1回戦		2回戦													
金沢工大										13		県工大										金沢工大										24		金沢工大										28		金沢工大										22		22	
IHC										18		IHC										IHC										17		IHC										23		IHC										14		14	
羽咋ク										22		羽咋ク										羽咋ク										16		羽咋ク										11		羽咋ク										10		10	
金沢市役所										26		金沢市役所										金沢市役所										20		金沢市役所										13		金沢市役所										24		24	
金沢工大										20		金沢工大										金沢工大										17		金沢工大										7		金沢工大										14		14	
小松ク										37		小松ク										小松ク										11		小松ク										12		小松ク										10		10	
あすなろク										12		あすなろク										あすなろク										0		あすなろク										11		あすなろク										10		10	
▽準決勝												▽準決勝										▽準決勝												▽準決勝												▽準決勝													
金沢市役所										24		金沢市役所										金沢市役所										20		金沢市役所										17		金沢市役所										24		24	
あすなろク										17		あすなろク										あすなろク										16		あすなろク										11		あすなろク										10		10	
▽決勝												▽決勝										▽決勝												▽決勝												▽決勝													
金沢市役所										21		金沢市役所										金沢市役所										10		金沢市役所										39		金沢市役所										21		21	
市役所										10		市役所										市役所										11		市役所										21		市役所										21		21	
あすなろ										21		あすなろ										あすなろ										21		あすなろ										21		あすなろ										21		21	
クラブ												クラブ										クラブ												クラブ												クラブ													

岩井	笠間	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井	準決勝	岩井
----	----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

◇第14回 静岡岡県クラブ選手権										
(5月15日)										
△男子▽										
▽1回戦										
清商ク	22	16	気賀ク	清商ク	19	14	富士ク	15	14	静農ク
御殿場ク	19	7	沼津ク	御殿場ク	40	5	常葉ク	20	6	御殿場ク
二俣ク	19	14	富士ク	二俣ク	16	7	7	14	清商ク	
▽準決勝										
清商ク	20	6	御殿場ク	▽決勝						
二俣ク	16	9	7	7	14	清商ク				
二俣ク	11	7	清商ク							
▽2回戦										
二俣ク	19	3	常葉ク							
二俣ク	15	5	緑友会							
▽決勝										
二俣ク	9	8	城北ク							
二俣ク	25	11	14	2	4	6	二俣ク			
ポストク										
◇第1回 静岡岡県会長杯大会										
(5月15日)										
△男子▽										
▽決勝										
元吉原中	10	5	5	6	3	9	雄踏中			
△女子▽										
決勝リーグ										

星 美 中 8 (2 2) 2 西益津中
 静岡東中 26 (14 12) 2 西益津中
 静岡東中 33 (19 14) 1 星 美 中

◆滋賀県春季社会人選手権

(5月22日)

△男子▽
 △1回戦
 京都セラミ 13 6 滋賀ハンダ
 高島クラブ 14 9 長浜クラブ
 浅井クラブ 21 8 大津目衛隊
 △2回戦
 京都セラミ 15 13 高島クラブ
 八幡工OB 21 16 浅井クラブ
 △準決勝
 八幡工OB 18 13 京都セラミ
 △決勝
 滋賀教員 20 (10 10) 13 八幡工
 △女子▽
 △1回戦
 滋賀クラブ 21 7 滋賀大教育
 △決勝
 滋賀クラブ 8 (5 3) 7 滋賀クラブ
 △B
 8 (3 4) 7 滋賀クラブ
 ◇昭和58年度中国四国学生
 春季リーグ入替戦
 (6月19、26日)

◆第19回北信越高校

(6月18、19日)

△男子▽
 △1回戦
 小 松 20 16 高 志
 上 田 25 7 柏 崎
 高岡向陵 24 19 屋 代
 八 尾 32 17 柏崎工
 △2回戦
 氷 見 22 9 小 松
 上 田 19 5 富山商
 北 陸 29 20 高岡向陵
 小松工 34 24 八 尾
 △準決勝
 氷 見 18 (12 6) 12 上 田
 小松工 23 (12 11) 19 北 陸
 △決勝
 氷 見 21 (11 10) 17 小松工
 △女子▽
 △1回戦
 福井商 15 5 新 湊
 佐 久 16 11 有 磯
 高岡向陵 15 5 白 田
 長岡大手 10 9 高岡女
 △2回戦
 小松商 17 2 福井商

佐 久 12 11 新潟江南
 小松市女 23 7 高岡向陵
 仁愛女 17 7 長岡大手
 △準決勝
 小松商 21 (14 7) 12 佐 久
 小松市女 9 (5 4) 6 仁愛女

◆第34回秋田県民大会

(7月2、3日)

△成年男子▽
 △1回戦
 V S O P 28 21 大曲ク
 大曲農OB 39 35 平和自動車
 △準決勝
 湯沢ク 50 29 秋田ハンドク
 V S O P 28 21 大曲農OB
 △決勝
 湯沢ク 52 (28 24) 21 大曲農
 △成年女子▽
 △決勝
 全和洋 28 (15 13) 14 大曲農
 △少年男子▽
 △1回戦
 大曲高 17 12 横手高
 大曲農高 25 14 稲川分校
 △準決勝

湯沢高 17 10 大曲高
 羽後高 17 14 大曲農高
 △決勝
 湯沢高 30 (17 13) 9 羽後高
 △少年女子▽
 △1回戦
 湯沢高 12 8 大曲高
 △準決勝
 大曲農高 16 13 湯沢高
 和洋女高 29 7 横手東高
 △決勝
 和洋女高 20 (9 11) 7 大曲農高



昭和58年度 A級・B級
 公認審判員審査結果

(A級)

受験者17名 合格者15名
 半田忠、菅野肇(秋田) 前川
 和三(滋賀) 小西春夫(京都)
 奥田政俊、丸谷謙二(奈良) 宮
 崎光市、倉本紘一、南波恒彦、
 新橋満(北海道) 手塚寿郎(山
 梨) 矢沢達司、横瀬藤雄(茨城)
 小川孝信(千葉)

(B級)

受験者33名 合格者32名
 △会場▽横浜市、京都市、大
 分市
 高山重雄(秋田) 田辺哲彦(青
 森) 日原勝、佐藤博明(北海道)
 斎藤正寛、高田正憲(埼玉) 笠
 原利宏、佐藤富男、内記英夫、
 五味崇恵(千葉) 平野敬樹(神
 奈川) 酒井伸夫(東京) 倫井俊
 彦(山梨) 辻吉和、田府勝、岩
 崎孝志(京都) 溝口博一、飼沼
 敏雄(愛知) 坂義則、浅沼敏雄、
 日比文司、川合常雄(岐阜) 佐
 藤喜一(大分) 森山正治(福岡)
 阪本達也(熊本) 高良政幸、星
 嘉部辰也、新垣泰一郎、金城幸
 信、大城盛仁、比嘉和直(沖縄)
 真木崇(愛媛)

くらし、ひろげるジャスコのカード

ファッションから食品まで

サインひとつでお買物——。

ご入会手続きも簡単です。お気軽にお申込みください。

会 員 募 集 中



お支払いもいろいろ

●月々のお支払いがラクな

リボルビング払い

●手数料なしのおトクな

一回払い

●お求めはいま、お支払いは

ボーナス一括払い

一部地域により取扱っていない場合
もございます。

お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店
サービスカウンター又は、販売員におたず
ねください。



ウェア

hummel

ASAHA

スカイハンド

adidas

Champion products

ハンドボール シューズ

ボール

DESCENTE

Mikasa

molten

adidas AS TIGER. MONT BLANC.

AI スポーツの通信販売

商品名・カラー・サイズ・数量等をはっきりと。住所・氏名・年令・電話番号を明記
のうえ、現金書留でご送金ください。即日
発送いたします。

なお、最終納期に間に合わない場合はご運
送のうえご送金いたします。送料500円
(5,000円以上お買い上げの方は無料です)

新チームはユニホームから

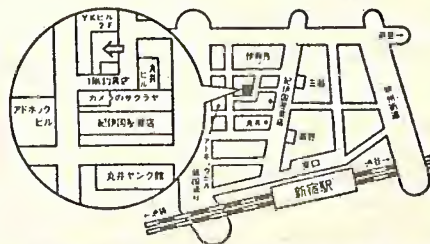
別注ユニフォーム

上下 4,000円より(ネーム入り)
・スカイハンド・アディダス
・シュンメル・アサカ
・レイバン、
オリジナルユニホームを作りま
せんか?

ハンドボールショップ
ハンドボール
(株)AIスポーツプロダクト **新**
セブン

〒160 東京都新宿区新宿3-16-4 YKビル2F

TEL 03-350-1054



人から、まず人からの科学。バイオメカニクス。

7人は、鳥である。
7人は壁である。



はるか、上空での空中戦を展開する競技である。
鉄壁の、という形容がふさわしい競技である。
防御から攻撃へ、ひとつの動きで移っていく。
コートという名の戦場では、身につけるウェアも、
作戦のひとつなのだ。バイオメカニクスから生まれた
ハンドボールウェア〈スカイハンド〉。
武器のような7人のために。

株式会社アシックス

商品その他お問い合わせは、株式会社アシックス消費者相談課まで。
〒564 大阪府吹田市豊津町2番3号 ☎(06)385-1111(大代表)



（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』

第三二二号

昭和四十年六月
昭和五十八年七月二十五日
第三種郵便物認可
昭和五十八年八月一日
印刷
発行

東電 振替 東京 六〇一五八三四八番
代表 谷区神南一〇九七
編集兼 荒川 清美
発行人

定価 三三〇円
年間購読料 三三〇円
（三三〇円）



ドラマは「アディダス」と共にやってくる。

3063 HANDBALL SPECIAL

ハンドボールスペシャル
¥12,000（標準小売価格）
●ホワイト×ブルー
3064 ●ホワイト×レッド
3065 ●ホワイト×ブラック
もあります。



世界選手権。オリンピック。ヨーロッパカップ。ゲーム

が高度になればなるほどアディダスの真価は100%

発揮されます。鍛えぬいた実力を、大切な一戦で確

実に引き出してくれるハンドボールシューズ・ウェア。

世界の強豪、そしてわれわれが〈スリー・ストライプス〉

を選ぶ理由は、ただ一つ、勝利への熱い意欲です。

adidas®

株式会社デサント/兼松スポーツ用品株式会社